

令和3年 山岳パトロール情報(余市岳・赤井川コース)

実施日：令和3年5月3日（月）

- 余市岳（標高1,488メートル）赤井川コースの山岳パトロールを実施しました。
- キロススキー場から十分な積雪があり、朝里第一リフト乗り場付近にある登山口までの林道をスキーで登りましたが、右股の沢は雪解けが進み渡渉するのは困難な状況でした。
- 登山口周辺はまだまだ雪に覆われていますが、沢は大きな穴が空き、水が流れているので、近づくと落水する可能性があるので注意が必要です。
- 北東コルから山頂方向の馬の背はクラストしており、雪面が堅いのでアイゼンを使用しました。山頂の気象は気温マイナス5℃、風速18メートルであり、真冬の様相です。

■ 登山道等の状況



キロススキー場林道の始点付近

林道の始まりから積雪がありました。スキーやスノーシューが適しており、トレッキングシューズで上ることは困難です。

1時間30分ほど林道を歩きました。林道上にはスキーで登攀するのに十分な積雪がありました。



林道の状況



右股の沢

右股の沢川は雪解けが進み、渡渉するのは困難な状況でした。登山口付近の沢も所々大きな穴が開いており、渡渉する場所を慎重に選ばないと落水する危険があります。

朝里第一リフト付近にある余市岳登山口の状況です。登山道は完全に雪で埋まっています。



余市岳登山口



見晴台付近

見晴台付近では濃霧により視界が悪かったため、GPSで現在地をこまめに確認しながら進みました。

北東コルから山頂への急登は雪面がクラストしていたので、アイゼンを使用しました。



北東コルの急登



余市岳山頂

登山口に雪がなくても、山中には雪が残っており、山はまだ冬の様相です。悪天候時には吹雪に見舞われる可能性も考えられることから、十分な防寒着を持参しましょう！まだまだ山は寒いです！また、濃霧等の視界不良時には下山方向を間違えやすいので、ハンディGPS等の装備を携行し、道迷いによる遭難を防止しましょう。

